

保護者アンケート

○実施日 平成28年6月9日～6月15日
○回収率 アンケートA 100% アンケートB 100%

この度の第1回アンケート回収率は100%に達しました。保護者の皆様のご協力を心から感謝いたします。集約結果を十分に検討し、今後のドバイ日本人学校の教育活動充実のために生かしていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

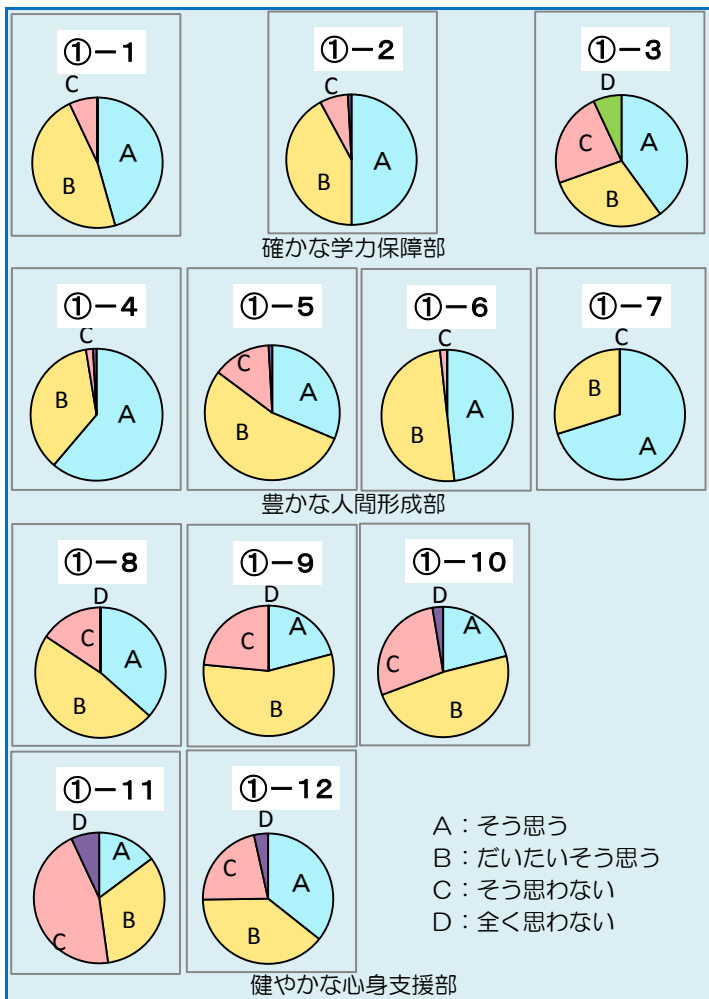
①子どもの様子

保護者の方から見たドバイ日本人学校の子どもたち
～今年度初めてのアンケート～

【確かな学力保障部】

①-1では、A・B評価合わせて92.2%という結果になっており、基本的な内容は理解できていると考えられる。また、家庭学習の習慣も①-2より97.3%が定着していると答えており、そのことも基本的な内容の理解につながっていると考えられる。今年度も思考力・判断力・表現力の育成に重点を置き、協動的に学ぶ場面を意図的に増やしていくことで、児童生徒のさらなる学力向上を目指していきたい。読書習慣については、①-3のA・B評価の合計が69.6%となっており、前年度の結果とほぼ同数値となっている。読書習慣の定着については、今後も引き続き努力が必要であるとする。そのためにも、今後も朝読書や各教科での図書室の活用を推進するとともに、読書環境の整備と蔵書の充実を行うなど、読書への関心・意欲を高める努力を継続していく。

①子どもの様子			評価	16前期
確かな学力保障部	①-1	各教科の基本的な内容を身につけている。	A	45.2
			B	47.0
			C	7.0
			D	0.0
	①-2	家庭での学習習慣（宿題や自主学習等）を身につけている。	A	49.6
			B	41.7
			C	7.0
			D	0.9
	①-3	家庭での読書習慣（毎日10分以上または1週間に1時間以上）を身につけている。	A	40.0
			B	29.6
			C	23.5
			D	7.0
豊かな人間形成部	①-4	友達となかよく、楽しく生活している。	A	61.7
			B	36.5
			C	1.7
			D	0.9
	①-5	自分に自信をもっている。	A	31.3
			B	53.9
			C	13.9
			D	0.9
	①-6	友達に思いやりをもって接している。	A	47.8
			B	49.6
			C	1.7
			D	0.0
①-7	三大行事に積極的に参加している。	A	69.6	
		B	29.6	
		C	0.0	
		D	0.0	
健やかな心身支援部	①-8	家庭ですすんであいさつをしている。	A	36.5
			B	47.8
			C	15.7
			D	0.0
	①-9	家庭で気持ちのよいへんじが言える。	A	20.9
			B	55.7
			C	23.5
			D	0.0
	①-10	家庭で時間のけじめをつけて生活している。	A	20.9
			B	47.8
			C	27.8
			D	2.6
①-11	家庭でくつならべなどのあとかたづけをしている。	A	14.8	
		B	33.0	
		C	45.2	
		D	7.0	
①-12	家庭ですすんで身体を動かしている。	A	35.7	
		B	39.1	
		C	21.7	
		D	3.5	



【豊かな人間形成部】

各項目のA・B評価の合計結果は、全ての項目で80%を越えており、高い数値を示している。①-4「友達となかよく、楽しく生活している」では98.2%、①-6「友達に思いやりをもって接している」では97.4%、①-7「三大行事に積極的に参加している」では100%となっている。これは、日頃の学級活動や委員会活動を基盤として、互いに協力し合って生活する意識が高まり、自立的な生活ができていくことによる。特に、三大行事の一つである音楽発表会において、「つながり合い」を大切に、取り組みを進めてきたことの成果と言える。

昨年度からの課題として取り組んでいる①-5「自分に自信をもっている」については85.2%となり、昨年度と比べ3%ほど向上している。2学期に行う熱沙祭、人権週間、現地校交流活動を通して、さらに自分の良さに気づき、互いに認め合う場面を設定していく。

【健やかな心身支援部】

あいさつに関する項目①-8では84.3%、①-9は76.6%となっている。本校では、職員と代表委員会による朝のあいさつ運動や生活目標に対する活動などを通して「進んであいさつすることの大切さ」を指導してきたが、十分に身についたとはいえない現状である。時間に関する項目①-10では、68.7%となっている。本校では、チャイム着席や3分間前行動などを呼びかけ、時間を守るための大切さを指導してきたが、家庭で時間の見直しをもって生活ができていない児童生徒が30%いる現状である。整理整頓に関する項目①-11では約52%の児童生徒ができていないことが分かった。本校では帰りの会等での後片付け7分タイムなどを通して整理整頓について指導してきたが、日常生活での習慣化には至っていない状況が明らかになった。運動に関する項目①-12ではAB評価が74.8%となっている。スポーツクラブや長縄跳び、マラソンカードを使った持久走等を通して体を動かす清々とした子どもたちに伝えてきたが、日常的な運動習慣を身につけるまでには至っていないようだ。外遊びがなかなかできないドバイの気候のもとで、どのような運動ができるのかを児童生徒に示していく必要がある。

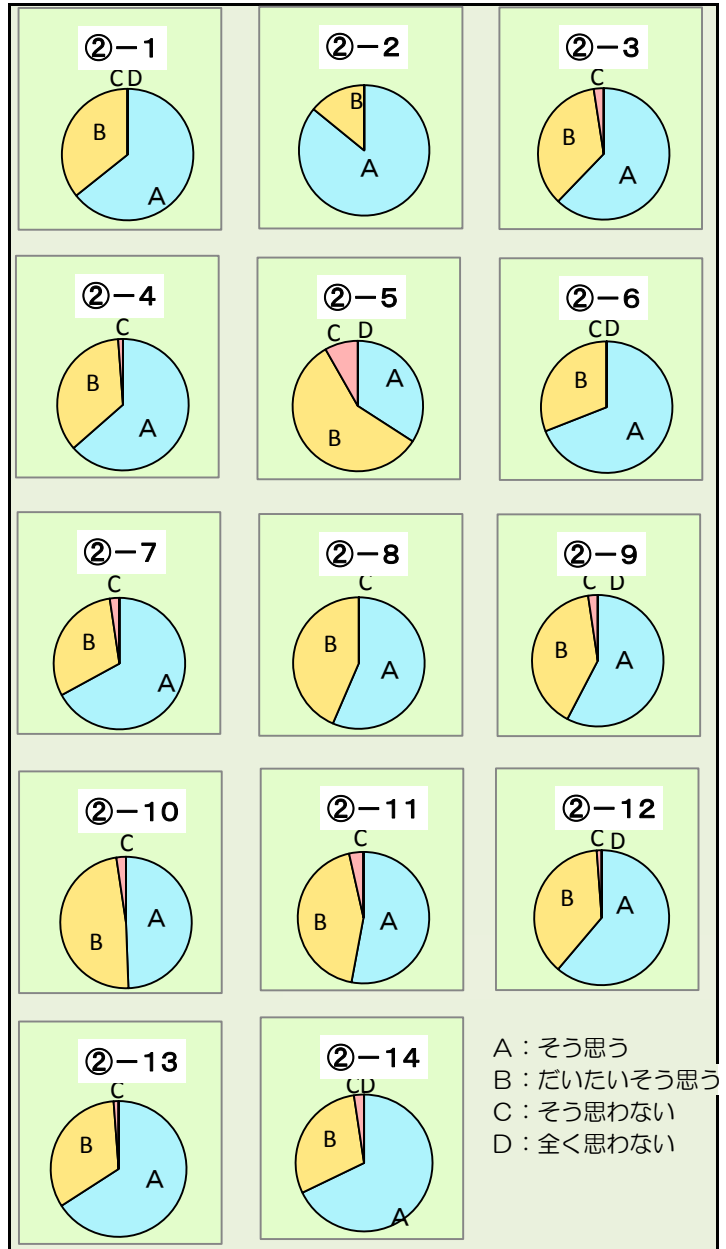
これからは、日常生活での実践力を高めていけるように指導を継続していく。学校での活動を通してご家庭に理解をしていただき、家庭生活でのフォローをしていただいたり、児童生徒が家庭での自分の行動を振り返る機会を設けたり、実践力の育成や習慣作りに努力をしていく。

②学校の教育活動

ほぼすべての項目でA評価、B評価あわせて約90%以上
今後への継続・推進 「学習環境作り」に課題

学校の教育活動について、今年度もすべての項目でA評価、B評価をあわせて90%以上に達している。保護者の皆様や日本人会等のご理解とご協力の下に、円滑に教育活動を実施してきた成果だと考えられる。しかしながら、Aの評価だけを見ると、昨年度後期の結果よりも下がっている項目があるので、これについてはその原因を分析し、改善していく必要がある。項目別に見ていくと、②-5「きれいで落ち着いた学習環境づくり」の項目が、昨年度比で11.5ポイントA評価が落ち込んだ。これについては、夏休みに体育館やトイレを中心に改築を行ったが、今後も日常的に補修や清掃を行い、利便性を高めながらできる限りの対応を進めていく。また、②-7「便り、HP等で学校の様子を伝える」の項目も昨年度比で14.0ポイント下がっている。PCの不具合や引き継ぎに時間がかかったこと等が原因で更新が滞り気味であったが、1学期中にHP用の新しいPCも導入され、今後随時更新していく準備は整ったので、2学期からは改善される見通しである。

②学校の教育活動	評価	16前期
②-1 学校は全体懇談会等で教育方針をわかりやすく伝えている。	A	63.5
	B	35.3
	C	0.0
	D	0.0
②-2 学校は授業及び学校行事を参照する機会を適切に設けている。	A	85.9
	B	14.1
	C	0.0
	D	0.0
②-3 アンケート等を行い改善に努めている。	A	60.0
	B	34.1
	C	2.4
	D	0.0
②-4 児童生徒の安全確保に心がけ、努力している。	A	63.5
	B	35.3
	C	1.2
	D	0.0
②-5 きれいで落ち着いた学習環境づくりのために努力している。	A	34.1
	B	57.6
	C	8.2
	D	0.0
②-6 児童生徒のことについての連絡や相談に適切に対応している。	A	68.2
	B	30.6
	C	0.0
	D	0.0
②-7 たより・HP等で、学校、学年(学級)の取り組みをよく伝えている。	A	67.1
	B	30.6
	C	2.4
	D	0.0
②-8 児童生徒の学力向上に向けて努力している。	A	56.5
	B	43.5
	C	0.0
	D	0.0
②-9 朝読書や読み聞かせ等、読書教育充実のために努力している。	A	57.6
	B	40.0
	C	2.4
	D	0.0
②-10 児童生徒の心の教育のために努力している。	A	49.4
	B	48.2
	C	2.4
	D	0.0
②-11 子供の間違った行動には適切に指導している。	A	52.9
	B	43.5
	C	3.5
	D	0.0
②-12 「あいさつ・じかん・くつならべ」の達成のために努力している。	A	61.2
	B	37.6
	C	1.2
	D	0.0



自由記述【評価理由・意見・要望等】

保護者の皆様からいただいた自由記述(評価理由・意見・要望等)について、「楽し学校生活を送っている」「温かい雰囲気、優しい友達や先生に囲まれて安心している」等、多くの肯定的な意見・評価があり、大きな励みとなった。

一方、課題点としての意見をまとめると、以下のように大別される。

- (1) 進路指導について
- (2) 学習・読書について
- (3) 施設・設備について

(1) 進路指導について

「進路について悩んでいたが、家庭学習ノートの記録が励みになったり、身近な目標が見つかったりしたことで、机に向かう時間も増えてきた」という意見があった。G6やG9はもちろんであるが、その他の学年においても、発達段階に応じて将来の職業や学校選択についての学習を進めていく必要がある。

(2) 読書・学習

「読書の習慣がつかない」「図書室の充実を望む」、等の意見をいただいた。図書ボランティアの方々にもご協力をいただき、蔵書管理の電子化などによる図書室の環境改善に取り組んでいる。さらに今後は、新規図書購入や、図書室及び読書室の改築に伴う環境整備にも取り組んでいく予定である。

また、「イメージ教育を再開してほしい」という意見があったが、2学期からは音楽のイメージ教育を担当する新しい講師が決まったので、再開できる予定

②-13	児童生徒の体力向上に向けて努力している。	A	65.9
		B	32.9
		C	1.2
		D	0.0
②-14	現地校交流・現地理解講座等を通して児童生徒の国際性を育んでいる。	A	67.1
		B	29.4
		C	2.4
		D	0.0

アンケートへのご協力、大変ありがとうございました。
 今後も本校学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

である。授業担当の変更等がありご迷惑をおかけする部分もあるが、ご理解とご協力をお願いしたい。

(3) 施設・設備

「トイレの改修に早く取り組んでほしい」という意見をいただいた。夏休み中にこれも含めて体育館の床の張り替え、日除けの設置、クラックの修理とペイント等を行った。使ってみての感想等に今後も耳を傾けていきたい。今後、来年度にかけて特別教室の間取り変更やフェンスの設置、かさ上げ等も計画している。その他の学校施設全般についても今後色々なご意見を頂きながら管理・維持に努め、児童生徒が過ごしやすい教育環境を整えていきたい。